

令和 6 年能登半島地震 現地調査報告会
～震災一年後のまちの現状と見えてきた課題～ 開催のご案内

主催：高知大学 防災推進センター・高知県危機管理部・高知県土木部
後援：公益社団法人 地盤工学会四国支部

令和 6 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震では、北陸地方の広い範囲で強い揺れが生じ、液状化や斜面崩壊、津波、家屋の倒壊、火災などが生じました。震災により、お亡くなりになられた方々に心から哀悼の意を表し、長期間不自由な避難生活をされている皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。高知大学防災推進センターでは、高知県危機管理部、高知県土木部と合同で第三次災害調査団を結成し、発災後約 1 年が経過した令和 7 年 4 月 18 日より、奥能登地域を中心とした現地調査を実施しました。復旧段階でのまちの現状と得られた教訓について下記のとおり報告しますので、ふるってご参加ください。

記

1. 日 時：令和 7 年 5 月 30 日（金） 9:00～12:00
2. 場 所：高知大学朝倉キャンパス メディアの森 6 階 メディアホール
3. 定 員：現地参加 100 名（参加費無料）、オンライン配信 100 名（Teams）
※先着順（事前申し込み要）
4. プログラム
 - 9:00 開会挨拶
原 忠 第三次災害調査団 団長
 - 9:05 震災 1 年後の被災地
原 忠 高知大学 教授・防災推進センター副センター長
 - 9:25 土木インフラの復旧と課題
竹内 真也 高知県土木部土木政策課 チーフ
 - 9:45 回復期の防災対応と現状の課題
相川 高輝 高知県危機管理部危機管理・防災課 主査
 - 10:05 巨大地震と複合災害への備え 能登から学ぶ高知のインフラ整備のあり方
横地 和彦 高知県土木部長
 - 10:25 奥能登の復旧から考える南海トラフ地震対策
江渕 誠 高知県危機管理部長
 - 10:45 家屋被害の復旧と教訓
山田 伸之 高知大学 教授
 - 11:05 休憩（10 分）
 - 11:15 総合討論
～南海トラフ地震への備え 災害レジリエンスを高めるには～
 - 11:55 閉会挨拶
江渕 誠 第三次災害調査団 副団長
 - 12:00 閉会

【問い合わせ先】 高知大学研究国際部研究推進課研究推進係

Tel 088-844-8891 E-Mail : kk03@kochi-u.ac.jp

<申込>

・QRコードを読み込み、各専用申込フォームからお申し込みください。

●現地参加申込はこちら（定員：100名）



（参加申込 form : <https://forms.office.com/r/6qdH83Ltkk>）

※ 申込締切 令和7年5月23日（金）17時<締切り後は直接お問い合わせください>

●オンライン参加申込はこちら（定員：100名）



（参加申込 form : <https://forms.office.com/r/U9eQvw6Hm4>）

※ 申込締切 令和7年5月27日（火）17時<締切り後は直接お問い合わせください>

※ ご記入いただいた団体や個人の情報は、事務局で適切に管理し、本速報会に係る連絡のみに使用し、皆様のご承諾なく第三者に提供いたしません。